

アジルバ錠 10mg  
 アジルバ錠 20mg  
 アジルバ錠 40mg  
 アジルバ顆粒 1%

【この薬は？】

|     |   |   |   |                                       |
|-----|---|---|---|---------------------------------------|
| 販売名 | アジルバ錠<br>10mg<br>AZILVA Tablets<br>10mg | アジルバ錠<br>20mg<br>AZILVA Tablets<br>20mg | アジルバ錠<br>40mg<br>AZILVA Tablets<br>40mg | アジルバ顆粒<br>1%<br>AZILVA Granules<br>1% |
| 一般名 | アジルサルタン<br>Azilsartan                   |   |   |                                       |
| 含有量 | 10mg<br>(1錠中)                           | 20mg<br>(1錠中)                           | 40mg<br>(1錠中)                           | 10mg<br>(1g中)                         |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。

- ・次の病気の人に処方されます。

### 高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にアジルバ錠またはアジルバ顆粒に含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
  - ・アリスキレンフマル酸塩を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・腎動脈狭窄のある人
  - ・高カリウム血症の人
  - ・脳血管に障害がある人
  - ・厳重な減塩療法中の人
  - ・過去に薬剤で過敏症のあった人
  - ・腎臓に重篤な障害がある人
  - ・血液透析中の人
  - ・肝臓に障害がある人
  - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬 [ラジレス (アリスキレンフマル酸塩)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

|      |      |
|------|------|
| 一回量  | 20mg |
| 飲む回数 | 1日1回 |

- ・1回20mgを服用しても効果が不十分な場合には1回40mgまで増量されることがあります。
- ・20mgより少ない量から開始される場合もあります。

[6歳以上の小児の場合]

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 体重   | 50kg未満 | 50kg以上 |
| 一回量  | 2.5mg  | 5mg    |
| 飲む回数 | 1日1回   |        |

・一回量を服用しても効果が不十分な場合には、体重50kg未満の場合は20mg、体重50kg以上の場合は40mgまで増量されることがあります。

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気が付いた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は腎臓に障害のある人やコントロール不良の糖尿病の人では、高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では血液検査がおこなわれることがあります。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、この薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。  
・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。  
・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。  
特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。  
・授乳している人は医師に相談してください。  
薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。  
さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

(国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845

- ・発熱や脱水のある小児にこの薬を投与する場合や血清カリウム値を上昇させる可能性がある他の薬剤と併用する場合、必要に応じて、血液検査が行われることがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？







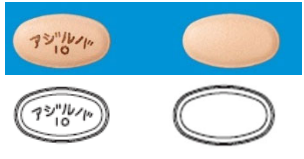
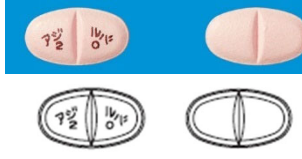
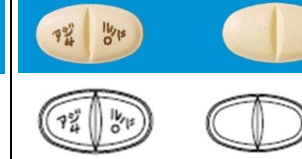
特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用                  | 主な自覚症状                                    |
|-------------------------|---|
| 血管浮腫<br>けっかんふしゅ         | 唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい |
| ショック                    | 冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失       |
| 失神<br>しっしん              | 短時間、意識を失い倒れる                              |
| 意識消失<br>いしきしょうしつ        | 意識の消失                                     |
| 急性腎障害<br>きゅうせいじんしょうがい   | 尿量が減る、むくみ、体がだるい                           |
| 高カリウム血症<br>こうかりうむけっしょう  | 体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、お腹が張る       |
| 肝機能障害<br>かんきのうしょうがい     | 疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振               |
| 横紋筋融解症<br>おうもんきんゆうかいしょう | 手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる         |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位  | 自覚症状  |
|-----|---|
| 全身  | 冷汗が出る、むくみ、体がだるい、体のしびれ、体に力が入らない、脱力感、疲れやすい、力が入らない |
| 頭部  | めまい、意識の消失、短時間、意識を失い倒れる                          |
| 顔面  | 唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、顔面蒼白                      |
| 眼   | まぶたのはれ、眼がはれぼったい                                 |
| 口や喉 | 喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、嘔吐                           |
| 胸部  | 息苦しい  |
| 腹部  | お腹が張る、食欲不振                                      |
| 手・足 | 手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ                         |
| 筋肉  | 筋肉の痛み   |
| 便   | 下痢  |
| 尿   | 尿量が減る、尿が赤褐色になる                                  |

## 【この薬の形は？】

| 販売名    | アジルバ錠10mg   | アジルバ錠20mg   | アジルバ錠40mg  |
|--------|---|---|--|
| PTPシート | <br>表面           | <br>表面                  | <br>表面                  |
|        | <br>裏面           | <br>裏面                  | <br>裏面                  |
| 形状     | フィルムコーティング錠<br> | 両面割線入りのフィルムコーティング錠<br> | 両面割線入りのフィルムコーティング錠<br> |
| 長径     | 8.2 mm  | 9.1 mm  | 9.1 mm   |
| 短径     | 4.7 mm  | 5.1 mm  | 5.1 mm   |
| 厚さ     | 3.1 mm  | 3.3 mm  | 3.3 mm   |
| 色      | 微黄赤色  | 微赤色   | 黄色   |
| 製剤表示   | アジルバ10  | アジルバ20  | アジルバ40   |

|     |   |
|-----|---|
| 販売名 | アジルバ顆粒1%<br>コーティング顆粒  |
| 形状  |  |
| 色   | 白色  |

## 【この薬に含まれているのは？】

| 販売名  | アジルバ錠<br>10mg  | アジルバ錠<br>20mg   | アジルバ錠<br>40mg   | アジルバ顆粒<br>1%  |
|------|--|---|---|---|
| 有効成分 | アジルサルタン  |   |   |   |
| 添加剤  | 乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール6000、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、黄色三酸化鉄、三酸化鉄 | 乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール6000、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、結晶セルロース、三酸化鉄 | 乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール6000、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、結晶セルロース、黄色三酸化鉄 | 乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、スクラメロース、タルク、酸化チタン、エリスリトール、軽質無水ケイ酸 |

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田薬品工業株式会社 (<https://www.takeda.com/jp/>)

くすり相談室

フリーダイヤル 0120-566-587

受付時間 9：00～17：30（土日祝日・弊社休業日を除く）